



緑中PRIDE

～踏襲から改善へ～



「旭川一のあいさつ」

「けじめのある言動」

「深い学び合い」

生徒は頑張りました！ 忙しかった2学期

旭川市立緑が丘中学校長 貞弘真悟

師走も半ばを過ぎ、皆様にはいよいよご精励のことと存じます。日頃より、本校の教育活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。

現段階、旭川市を含めた北海道全域でのコロナ感染症に対するレベルは1となっています。本校でも、健康チェックやマスク着用、換気等を継続しながら、通常に近い教育活動を行っています。ただ、前を向いての給食、全校集会等、マスクを取る場面や密集する場面は引き続き警戒しているところです。

2学期は主立った学校行事が集中し、生徒にとって大変忙しい学期でした。遠足、宿泊研修、修学旅行等、学校外で行う行事は何とか実施することが出来ました。特に修学旅行は3泊を2泊にした結果、風邪症状を訴える生徒もなく予定通りの行程を全うすることが出来ました。

12月22日には、ようやくですが学校祭を行いました。他の行事、特に3年生は進路選択もあり一斉に学校祭準備が出来なかったため、この時期の開催となりました。映像視聴という、いささか変則的な内容ですが生徒は良いものを作ろうと努力してきました。保護者の皆様にも見ていただく機会を作ろうと思います。

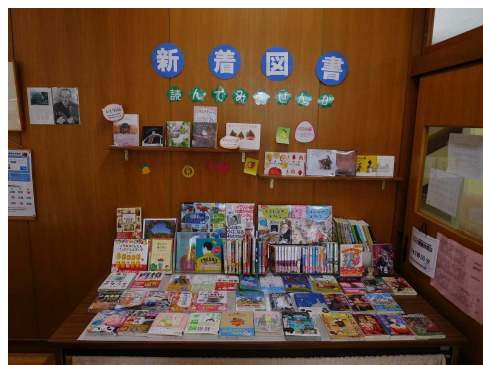
しかし、部活動や委員会活動で大活躍してきた3年生の先輩の姿を集会等で目にする機会がなく、本校の良き伝統を1・2年生に引き継ぐ場面が少なくなっています。緑中PRIDEの一つ「けじめのある言動」でやるときはやる姿を3年生から引き継ぐ機会を作りたく、3年生の合唱コンクールを行い、1・2年生にも聞いてもらいました。また、終業式・始業式も3年生・1年生、3年生・2年生と、それぞれ2つの学年を体育館に入れて実施します。今後、また状況が変わる可能性はありますが、『出来る時になるべく多くの活動を』という考えのもと、教育活動を実施していきます。

保護者の皆様には、保護者アンケートでもお世話になりました。結果を十分に受けとめ、課題となるところは具体的な方策を立て皆様に説明していきたいと思えます。また、来年度の学校経営方針にも生かします。

今年度より冬休みが20日間となっています。5日間短くなったとはいえ、長期の休みです。担任より、お子さんの様子を伺うような連絡をすることもあると思えます。今後も、お子さんのことで気になることがあれば学校に連絡をお願いします。保護者の皆さんと連携を図りながら、生徒の成長のために活動していきます。来年もよろしく申し上げます。

読書活動への寄付

12月9日(木)西御料地地区市民委員会より、本校の教育活動(読書活動)への支援金をご寄付いただきました。早速、図書専門委員会でアンケートをとり、生徒が読んでみたい本を選定し、購入させていただきました。地域の方々のお陰で子どもたちが学びを深めることができます。あたたかいお心遣いに感謝いたしますとともに、今後とも緑が丘中学校へのご支援をお願い申し上げます。



販売実習

12月17日（金）ナナカマド学級とプラタナス学級では、自分たちが製作した木製鍋敷きやエコクラフトの小物入れ、アクセサリなどを販売する実習を行いました。当日は、多くの保護者の方が買い物をしてくださいました。生徒達は商品を並べたり、会計をしたり貴重な経験をする事ができました。



3年生の合唱コンクール

12月21日（火）3年生による合唱コンクールが開催されました。今年度は、学校祭で全校的な取組ができない中、緑中の伝統をなんとか後輩たちに引き継いでもらいたいという3年生の願いで実現した取組でした。修学旅行から帰ってきてから大急ぎで各学級の曲を選定し、少ない時間で練習を重ねてきました。それぞれのクラスが団結しての合唱は、1・2年生を感動に包み込む素晴らしいものでした。



学校祭の取組

12月22日（水）今年度の学校祭が開催されました。当初は9月に開催を予定しておりましたが、緊急事態宣言発出のため、各学年の準備期間を考慮してこのような日時となりました。

子どもたちは「We can make “midorigaoka”～磨け芸術 光れ才能～」のテーマのもと、「実践」を合い言葉に思い出に残る学校祭にしようとこれまで準備に取り組んでまいりました。本来であればご来校いただき、その成果をご覧いただきたかったのですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者の皆様には、後日DVDで視聴していただくことといたしました。